



【1については東海農政局と同時発表】

令和4年2月7日

市政記者クラブ 様

環境局ごみ減量部資源化推進室

担当：山本、堀

電話：972-2297

「職場内フードドライブ」の推進について

日本では、年間約 570 万トン（令和元年度農林水産省及び環境省推計値）の食品ロスが発生しており、国民 1 人当たりで換算すると、毎日お茶碗 1 杯のご飯の量に近い食べ物を捨てている計算になります。

食品ロス削減運動の機運向上を図るため、このたび、①官庁街に勤務する職員等を対象とした「官庁街フードドライブ」を開催するとともに、②民間事業者等が従業員等を対象に行うフードドライブへの支援を開始することで、「職場内フードドライブ」の取組みを推進しますので、お知らせします。

記

1 官庁街フードドライブの開催

開催日時：令和4年2月15日（火）11時30分～13時30分

受付場所：市役所 本庁舎 地下1階 施策PRスペース

※ 東海農政局・中部地方環境事務所との共催で行います。他の受付場所等は別添1をご参照ください。

2 民間事業者等が行うフードドライブの支援（別添2）

- (1) 回収用ボックス・のぼりの貸出し
- (2) 回収した食品の受付（環境学習センター・なごや生物多様性センター）
- (3) 市公式ウェブサイトでの取組み紹介

（参 考）

～「フードドライブ」とは～

家庭にある手つかず食品を持ち寄り、フードバンク活動団体や地域の福祉施設などに寄付する活動です。本市では、毎月8日から14日までの間、環境学習センター（エコパルなごや）・なごや生物多様性センターで市民からの食品の受付を行っています。

家庭にある手つかずの食品をお持ちください！

官庁街 フードドライブ



～あなたの“もったいない”が、誰かの“ありがとう”に～

フードドライブとは？

- ・家庭にある手つかずの食品を持ち寄り、まとめてフードバンク活動団体や地域の福祉施設などに寄付する活動です。
- ・名古屋市では、環境学習センター・なごや生物多様性センターで、市民からの食品提供の受付を行う（毎月8日～14日）とともに、企業や職場・地域での自主的なフードドライブの実施を呼び掛けています。
- ・今回、名古屋市・東海農政局・中部地方環境事務所は、官庁街に勤務する方等を対象に「官庁街フードドライブ」を開催します。



【開催日】 2月15日（火）

【場所・時間】

- ① 名古屋市役所 本庁舎 地下1階 施策PRスペース
11時30分～13時30分
- ② 名古屋農林総合庁舎 東海農政局 1階テレビ会議室
- ③ 中部経済産業局総合庁舎 中部地方環境事務所 第1会議室
- ④ 名古屋合同庁舎第1号館 1階ロビー
- ⑤ 名古屋合同庁舎第2号館 1階ロビー

②～⑤は12時～13時

- ※ お持ちいただきたい食品及び食品の条件は裏面をご覧ください。
- ※ 手指消毒等の新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。

主催：名古屋市（環境局ごみ減量部資源化推進室 電話972-2390）

共催：東海農政局・中部地方環境事務所



お持ちいただきたい食品

- ◎ お米（白米・玄米など）※¹
- ◎ 缶詰（肉・魚・野菜・果物など）
- ◎ インスタント・レトルト食品
- ◎ 乾物（パスタ・うどん・そばなど）
- ◎ 調味料（食用油・醤油・味噌・砂糖など）
- ギフト（お歳暮・お中元などの余り）
- お菓子
- 乳幼児用食品（粉ミルク・離乳食など）
- 飲料※²



- ※ 1 白米は精米時期から半年以内のもの、玄米は収穫時期から2年以内のもの
- ※ 2 アルコール飲料を除く。
- ※ 3 生鮮食品、冷凍・冷蔵食品、びん詰め食品は受け取れません。

食品の条件

- ・ 賞味期限が1か月以上先で常温での長期保管が可能なもの
- ・ 包装や外装が破損していないもの
- ・ 未開封のもの

- ※ お持ちいただいた食品は、受取りの際に上記の条件について確認させていただきます。
- ※ 状態によってはお持ち帰りいただく場合がありますのでご了承ください。



食品ロスを減らしましょう！

- ・ 食品ロスとは、本来食べられるのに捨てられている食品のことです。
- ・ 日本では、年間約570万トン（令和元年度推計値）の食品ロスが発生しており、国民1人当たり換算すると、年間約45kg、毎日お茶碗1杯のご飯の量に近い約124gの食べ物を捨てている計算になります。
- ・ 食品ロス削減のために、できることから始めましょう。



職場で「フードドライブ」

実施してみませんか？

～あなたの“もったいない”が、誰かの“ありがとう”に～



「フードドライブ」とは？

家庭にある手つかず食品を持ち寄り、まとめてフードバンク活動団体などに寄付する活動

SDGs に貢献

✓家庭の「食品ロス」削減につながります

- ・ 家庭の可燃ごみの約 20%が食品ロス、そのうちの約 1/4 が手つかず食品です。(名古屋市推計)
- ・ 手つかず食品を有効利用することは環境に配慮した取組みです。



✓食べ物が必要な方に届けられます

- ・ 日本では6人に1人が貧困状態にあるとされています。(厚生労働省調査)
- ・ フードドライブは誰にでも気軽にできるボランティア活動です。



受け取られた方の声

「箱いっぱいの食べ物が届いてありがたいです。」
「子どもたちがご飯を食べられることに感謝します。」

フードドライブを行うメリット

💡社会貢献活動のPR

自社ホームページやCSRレポート等で社会貢献活動としてPRできます。

💡コミュニケーション・士気向上

従業員みんなで取り組むことで社内のコミュニケーション・士気向上につながります。

💡市によるPR

市公式ウェブサイトで紹介されます。また、「なごやSDGsグリーンパートナーズ」制度の評価点にもなっています。

取り組んだ会社の担当者の声

「SDGsの取組みが何かできないか考えていた。」
「従業員の食品ロスへの関心の高さを実感した。」

<フードドライブの流れ>

ステップ 1 : 資源化推進室（問合せ先）に実施の相談をします。

<市の回収用ボックス・のぼりの使用も可能です。>

ステップ 2 : 職場内での食品の回収日・回収場所等を決めます。

ステップ 3 : 従業員に周知します。

ステップ 4 : 食品を集めます。 ※ 賞味期限等をチェック

ステップ 5 : 集まった**食品**と**実施報告書**を**毎月8日から14日**(休館日を除く)までに

- ① **環境学習センター（エコパルなごや）** 中区栄一丁目 23-13 伏見ライフプラザ13階
- ② **なごや生物多様性センター** 天白区元八事五丁目 230

いずれかにお持ちください。

※ 条件によっては、持込み先を調整させていただくことがあります。

集める食品

賞味期限が1か月以上先の常温で長期保管が可能なもの

- ◎ **お米**（白米・玄米等）※¹ ◎ **缶詰**（肉・魚・野菜・果物 など）
- ◎ **インスタント・レトルト食品** ◎ **乾物**（パスタ・うどん・そば など）
- ◎ **調味料**（食用油・醤油・味噌・砂糖 など）
- ギフト（お歳暮・お中元等などの余り）、お菓子、乳幼児用食品（粉ミルク・離乳食など）、飲料※²

※¹ 白米の場合、精米時期から半年以内のもの、玄米の場合、精米時期から2年以内のものは賞味期限の記載がなくても可

※² アルコール飲料を除く

※³ 生鮮食品、冷凍・冷蔵食品、びん詰めのもの、開封されているもの(お米は除く)はお受けできません。

【問合せ先】 名古屋市環境局ごみ減量部資源化推進室

電話 (052) 972-2379

ファクス (052) 972-4133

市公式ウェブサイトはこちら！

